

令和8年度（2026年度）熊本市EBPM支援等業務委託

技術提案書等作成要領

1 提出書類

技術提案書等は、次に示す様式(様式ごとに指定された添付書類を含む。)により提出すること。

- (1) 技術提案書提出書(様式第3号)
- (2) 技術提案書(様式は自由。30ページ以内とする。「2提案及び記載を求める項目(提案範囲)」に示す内容を満たすこと。また、提出書類のサイズは、A4版長辺上綴じ・横書き両面印刷とすること。
- (3) 講師プロフィール及び登壇実績(様式第4号)
- (4) 概算見積書(様式自由。ただし、基本仕様書「5業務内容」(1)～(5)の各々に対する積算額を提示すること)

2 提案及び記載を求める項目

以下の各項目に提案すること。

- (1) 本業務に提案者が取り組むことの優位性、アピールポイント(類似業務の実績など)
- (2) 業務実施体制

業務の執行体制を示すこと。

- ア 配置を予定しているもの全員について記入すること。
- イ 業務の一部を再委託する予定がある場合は、委託先及び業務の内容を詳細に記入すること。
- ウ 資格については、本業務に関連することが分かるように記入すること。
- エ 業務従事者の同種業務に関する活動実績を示すこと。実務経験年数は当該分野における経験年数を記入すること。
- オ 実務経験年数は当該分野における経験年数を記入すること。

- (3) 業務実績

政令指定都市、都道府県、国においてEBPM関連業務(データに基づく政策立案・政策評価に係る支援、職員のEBPMの実践に向けた支援)実績を記入すること。現年度も含め令和6年度～令和8年度の契約実績を記入すること。

- (4) 業務内容の個別実施に関すること

- ア 基本仕様書「5業務内容」(1)～(5)に記載している各項目を実現するための実施方法、具体的かつ効果的な対応方法、留意すべき視点などを示すこと。
- イ 基本仕様書「5業務内容」(3)、講師に関すること
プロフィール及び登壇実績を記載すること。行政機関の研修における登壇実績について、実施先、研修名及び登壇回数(対面研修とオンライン研修の内訳含む)を記載すること。研修名で内容がわかりにくい場合は、補足を簡潔に付記すること。登壇実績の対象期間は、令和7年(2025年)4月から令和8年(2026年)3月の1年間とする。
- ウ 基本仕様書「5業務内容」(5)EBPM相談窓口について

データ戦略課への助言を行う者の同種業務に関する活動実績及びスキル等を示すこと。また、円滑な助言を行うための体制を示すこと。

(5) 見積書（任意様式）

記載する作業内容について、各作業内容の想定工数および金額を積算書の内訳として記載すること。なお、積算根拠については「〇〇一式」ではなく、積算した作業ごとに役割、単価および工数がわかるように記載すること。

(6) 独自提案

基本仕様書「5 業務内容」以外の内容で、有益と考える内容があれば提案すること。

本業務仕様書をもとに契約書添付の仕様書を作成するが、提案者からの提案内容を盛り込むことがあるので、提案者が実現できる範囲で記載すること。

3 技術提案書の提出部数

(1) 正本

- ・紙媒体にて1部、技術提案書提出書（様式第3号）を表紙として一冊にまとめた状態で提出すること。
- ・添付書類を含め、参加者名が分かるもの。
- ・技術提案書の内容を記録したCD-RもしくはDVD-Rを提出すること。

(2) 副本

- ・技術提案書の内容を記録したCD-RもしくはDVD-Rを提出すること（紙媒体不要）。
- ・添付書類を含め、正本から社名及び社名を類推できる表現・ロゴ等を外したもの。業務実績についても社名が分かるような表現は行わないこと。例えば社名をA社とするなど。

CD-RもしくはDVD-Rへの正本及び副本の記録は、1つの媒体にまとめて差し支えない。